

臨床研究等の情報公開

研究課題名	看護学生の身体拘束に対する倫理的ジレンマ ～臨床指導における関わりについての考察～
研究機関	青森市民病院 看護局 臨床指導委員会 赤石真由美
研究内容	A 病院では「身体拘束最小化に向けた看護」に取り組んでいる。臨床指導委員会では、看護学生の身体拘束に対する倫理的ジレンマに焦点をあて、学内での学びと臨床の学びとの間にある思いを倫理原則と照らし合わせ、臨床指導の関わりを考察したので報告する。
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和7年3月31日
対象者	当院で臨地実習を経験した看護学生101名。 内訳：看護大学3年生33名、看護師養成所3年生36名、准看護師養成所2年生32名。
実施方法	インタビューガイドを作成し、実習の最終カンファレンスで聞き取りをする。聞き取りができない場合は、同様の設問についてアンケート調査をする。データ分析は、臨床指導委員9名でコード化し、抽出したコードを倫理原則【自律の尊重】【善行】【無危害】【正義・公平】と照らし合わせ、カテゴリーに整理した。抽出したカテゴリー別ラベル数を項目全体の割合としてパーセンテージで算出した。
参加撤回の自由	調査対象者に対しては、実習前に教員へ調査の目的、実施方法、参加への意思表示とし不参加でも不利益にならないことを説明し、教員から学生へ伝達を依頼した。また、実習中、身体拘束場面において精神的苦痛を生じた場合は、いつでも伝えてもらうよう説明した。回答については、個人を特定されないようにし、答えたくない設問については、回答しなくてもよいことを説明した。アンケートは提出をもって参加同意とした。
問合せ先	青森市民病院 看護局臨床指導委員会 委員長 赤石真由美 電話 (代表)017-734-2171 PHS:9205